



JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員、地域から「必要とされ、なくてはならない存在」となることを目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

農業を拓く協同組合

JAと農業

監修=JCA (日本協同組合連携機構)

第24回

「組合員」としての役割発揮

JAは、組合員が一人では解決できない農業や暮らしの困りごとを、他の組合員と力を合わせて解決するための組織です。そのためには、組合員同士で意見を出し合い、それをまとめることが必要となります。このような役割を「意思反映」や「運営参画」などと呼んでいます。しかし組合員になって間もない人がこうした役割を果たすのは容易ではありません。

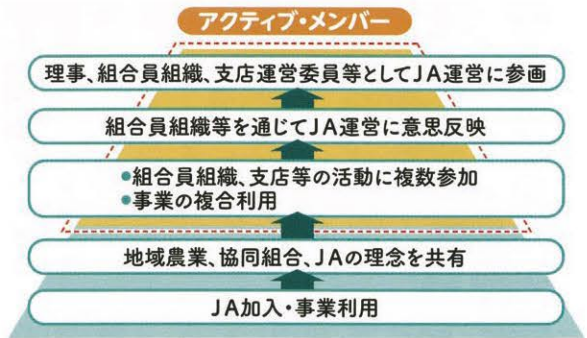
そこでJAでは、組合員に対してまずは地域農業や協同組合、JAへの理解促進をはかり、その上でJA事業の複合利用や、さまざまな活動への参加を呼びかけています。さらに組合員の傾向や特性に合わせて、受け皿となる組合員組織(集落組織、支店運営委員会、年金友の会・共済友の会など)を整備しています。こうした多数の組合員が集まる「場」を通じて組合員の「意思反映」を図るとともに、その代表者による「運営参画」を進めています。

語句解説

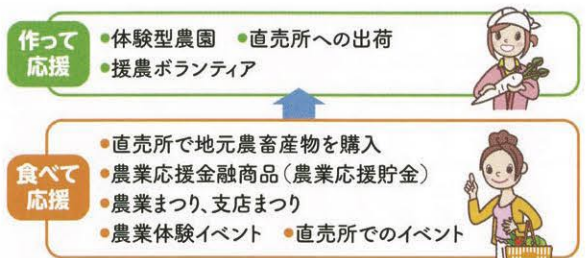
【地域農業振興の応援団】

JAグループは、准組合員を「地域農業や地域経済の発展を農業者と共に支えるパートナー」と位置付けています。地元産農畜産物の購入などによる「食べて応援」、援農ボランティアなどによる「作って応援」といった活動を促進し、正組合員だけでなく、准組合員も積極的な役割を果たす中での「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指しています。

組合員のメンバーシップ強化イメージ



准組合員の「地域農業振興の応援団」取り組みイメージ



第28回JA全国大会決議(概要版)をもとに作成



耕そう、大地と地域の未来。
(JA広報通信より)

JA広島市の自己改革

地域農業振興の応援団に

JA広島市では、組合員のみなさまに農業やJAについてもっと知っていただき地域農業を応援していただくこと、情報紙「JA広島市 Love Letter (ラブレター)」を発行しています。これまで、管内の産直市のご紹介や農業祭・ふれあいまつりのご案内など、組合員や地域のみなさまに地域農業を応援していただく企画をお届けしてきました。

この度発行したVol.4では、管内のおいしい農畜産物を特集。身近にたくさんの農畜産物が生産されていることを知っていただく紙面としています。併せて、地産地消を実践する代表的な施設「ファーマーズマーケット」についての説明や、JA広島市直営の「農彩館 五日市ファーマーズマーケット」、1月にリニューアルオープンした「農彩館 矢野とれとれ市場」についてご紹介しています。その他、タマゴを使った「キッシュロレーヌ」のレシピなども掲載しています。

2月下旬から、組合員世帯へ順次郵送でお届けしており、各支店においてもお配りしています。ぜひ、ご家族みなさんでお読みいただき、地域農業の応援団として地産地消を実践してください!

